

前年同月比2%超の上昇!!

物価は9カ月連続で、

でも、

お給料は上がらない
年金は実質目減り

物価が高騰し、年金生活者にとって、生活が苦しくなるばかりです。年とともに体調も悪くなるばかり…**ガマンしてそれでも痛みが勝てば医者に行きます。(77歳)**

これから先、**自分たちの負担分を考えると暗い気持ちになる。**
1日3食食べれるのか…とマジで考えます。
(55歳)

私たちの
声を

社会保障に

負担増ストップ!
国民の医療と介護を守る
緊急請願署名にご協力を!

web署名は
こちら



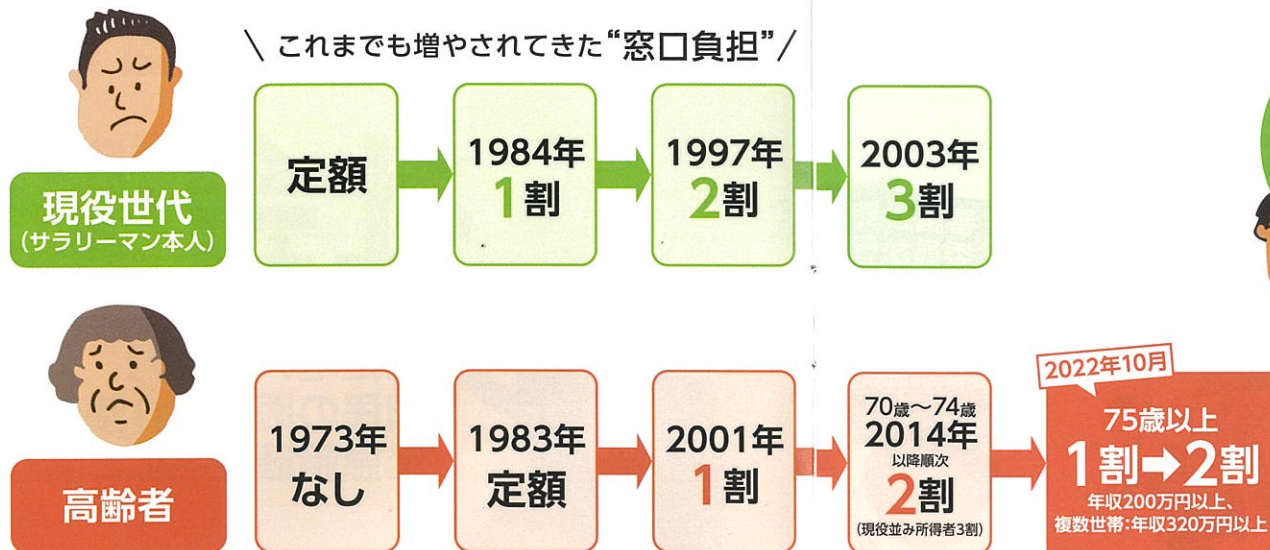


すべての人がお金の心配なく 医療が受けられるように 医療費窓口負担の大幅軽減を!

深刻な受診控え

長引くコロナ禍や物価高騰で私たちの暮らしの厳しさは
気にして必要な受診を控える事態が広がっています。受
れます。

現役世代も高齢者も医療費の窓口負担は増
経済的理由による受診控えの背景には、増やされてきた
2022年10月には、コロナ禍にもかかわらず、**75歳以上
負担を1割から2割に引き上げました。**



増えています。こうした中、負担を
診の遅れによる重症化も懸念さ

やされてきた

医療費の窓口負担があります。
で**年収200万円以上***の人の窓口
※単身の場合。複数世帯は年収320万円以上

全世代で/

5人に1人が過去半年以内
に、「経済的理由で受診を
控えたことがある」

22%

2022年保団連アンケートリフより(n=692)

医療費2倍で/

高齢者からは切実な声

医療費が2割負担に
なったので、**来年からは受診を
減らそうと思っている。**
(78歳)

受診前から、
**どれだけ現金が必要か
心配している。**
(82歳)

2022年保団連 アンケートリフより

医療の
負担増

\高齢者をねらいうち/

約4割 (年収153万円以上) の

後期高齢者の医療保険料引き上げ

政府は、後期高齢者(75歳以上)の約4割(年収153万円以上)を対象に医療の保険料を引き上げようとしています。引き上げ幅は1人当たり平均で年5200円(25年度)と試算されています。22年10月に窓口負担が1割から2割に引き上げられた上に、保険料まで負担増となり、高齢者にとってはダブルパンチです。

後期高齢者1人当たりの保険料額

(厚労省試算、年間当たり。■内は制度改正前からの増加額)



※厚労省資料より作成

23年度からは
約1万円の
UP

\国の財政責任がさらに後退!?!/

高齢者の負担増の一方で
国の負担大幅減

後期高齢者

+950億円

医療保険
制度改革に伴う
財政影響の抜粋
2024年度

-1340億円

国の負担

※厚労省資料より作成



審議会でも
委員から懸念の声

高齢者への医療や
介護の立て続けの負担増で、
高齢者は耐えられるのか。





介護利用者負担 2割の対象拡大!?

現在：年収280万円以上(単身)→年収200万円以上(単身)に!?

政府は、75歳以上の医療の「窓口負担2割」の対象を年収200万円以上*に拡大したことを引き合いに出し、介護の「利用者負担2割」の対象拡大を狙っています。**夏までに結論を出す**としています。現在は原則1割負担ですが、年収280万円以上*(65歳以上の人の約20%)は2割または3割負担となっています。年収200万円以上まで対象が拡大されれば、65歳以上の人の約30%まで対象が広がります。

※単身の場合

\2024年に実施が狙われている!/? 老健施設等の 多床室(相部屋)の 室料有料化

老健施設や介護医療院などの多床室(相部屋)は、現在、室料の利用者負担はありません。2024年度から新たに室料を取ることが狙われています。多床室は低所得の利用者が多く、負担増を理由に退所に追い込まれる、入所を断念するといった事態が懸念されます。

介護の利用者負担が1割から2割になったら…

「施設を退所する、
もしくは
退所を検討」

13%

在宅サービスの
「利用回数や時間を減らす」
「利用を中止する」

30%

※全日本民医連調査より

現役世代、支える家族も限界

現在も本人の年金では補えず、
家族が不足分は援助しています。
これ以上の援助は家族の生活に影響がでくるので
施設を退所することも考慮せざるを得ません。



認知症の家族を抱え、
施設を退去しなければならない場合、
**他の家族は仕事も出来ず、
生活が成り立ちません。**
どうすれば良いですか？



「介護離職ゼロ」と
いていたのに…

財源

はどう
考える？

国の責任で安全・安心の 医療・介護を！ 財源はあります！

暮らしや
子育て支援に
お金を使って！

防衛費に5年間で43兆円！
平和は軍事力ではなく
外交努力で！

5兆円あれば全世代の
医療費窓口負担が
無料に！

医療・社会保障の充実の ための財源提案

1

法人税課税を強化する！

余裕のある大企業の
税金を増やす！

2

所得に応じた課税にする！

富裕層の
税金を増やす！

3

「非正規雇用労働者」を「正規雇用労働者」にし、
働く人の賃金を引き上げて、保険料や税の収入を増やす！

医療費が2割負担に
なったので、**来年からは受診を
減らそう**と思っている。
(78歳)

物価が高騰し
年金生活者にとって、
生活が苦しくなるばかりです。
年と共に体調も悪くなるばかり…
**ガマンしてそれでも痛みが勝てば
医者に行きます。**(77歳)

全世代で/
5人に1人が
過去半年以内に、
「**経済的理由で受診を
控えたことがある**」

これから先、
自分たちの負担分を
考えると暗い気持ち
になる。
1日3食たべれるのか
…とマジで考えます。
(55歳)

介護費用が
月10万円で高い。
介護する私(60代)の
老後はどうなるか。

22%

2022年保団連アンケートリブより (n=692)

老老介護ゆえ
これ以上の負担が
増えると**共倒れになる
恐れがあります。**

(介護利用者負担が)2割になると、
**自宅での介護が続けられなくなるが、施設に入れる
お金もないので、どうすればいいか困ってしまう。**

2022年10月に75歳以上の医療費窓口負担2割化を強行!
その上!医療・介護のさらなる負担増が狙われている。

医療では…

- 75歳以上の約4割(年収153万円以上)の人の保険料負担を引き上げる

介護では…

- 利用者負担2割の対象者を拡大する
- 老健施設等の多床室(相部屋)室料を新設する

社会保障に私たちの声を反映させよう!

負担増ストップ!国民の医療と介護を守る緊急請願署名にご協力ください



負担増ストップ!国民の医療と介護を守る 緊急請願署名

■■■ 請願趣旨 ■■■

長引くコロナ禍に物価高騰が追い討ちをかけ、私たちの暮らしは厳しさを増しています。暮らしを守り経済を立て直す抜本的対策が急務です。しかし、政府は、暮らしを支える対策どころか社会保障費を削減し、医療や介護の負担増を進めています。

2022年10月には、75歳以上で年収200万円以上の人、約370万人の医療費窓口負担2割化が強行されました。今年の通常国会では、後期高齢者医療制度の保険料引き上げ(年収153万円以上、後期高齢者の約4割が対象)など医療のさらなる負担増が提案され、さらに、介護保険利用者負担2割の対象拡大、老健施設などの多床室の室料有料化など、介護の大幅な利用者負担増が狙われています。しかし、非正規雇用の増加、低賃金労働のまん延、年金引き下げによって格差や貧困が広がり続け、私たちの負担はもう限界です。

一方、医療、介護従事者は、政府の社会保障費抑制政策の下で、人手不足、長時間・過密労働など過酷な労働環境に置かれており、これは患者・利用者の安全・安心を脅かすことにもつながっています。

国の責任で、すべての国民がお金の心配なく安全・安心の医療、介護が受けられるように、私たちは以下の事項を求めます。

■■■ 請願事項 ■■■

- 一、医療・介護の患者・利用者負担を大幅に軽減すること。とくに75歳以上の医療費窓口負担2割化は1割に戻すこと
- 一、後期高齢者医療制度の保険料引き上げ、介護の利用者負担2割の対象拡大など、医療・介護の負担増をしないこと
- 一、医療・介護への国の予算を増額すること

お名前	ご住所 (「同上」「〃」は使わないでください)
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。
※鉛筆や「文字が消せるボールペン」でのご記入はご遠慮ください。